

第2回
東京

東京服育研究会主催

服育

F U K U I K U

定期セミナー

TOKYO FUKUIKU SOCIETY'S SEMINAR for TEACHERS

日時 2013年11月15日(金) 16:00 - 18:00

対象 学校・教育関係者 ※その他の方はお問い合わせ下さい

場所 新宿 NSビル 30F

参加費 無料

主催/東京服育研究会

先着順
受付

お申込み方法

● 東京服育研究会へ直接お申し込み

Tel. 0422-21-3711 (ムサシノ吉祥寺店)

Tel. 03-3723-0596 (ユニフォームスタジオ 自由が丘本店)

Tel. 03-3667-5323 (チクマ)

※お名前、学校名、ご連絡方法についてお伝えください。

● FAXでのお申し込み

03-3667-5333

● メールでのお申し込み

fukuiku@fukuiku.net

※必ず11月15日東京の服育定期セミナー参加希望と明記の上、お名前、学校名、ご連絡方法についてご連絡ください。

私たちは服育を3つの観点から考えていきます。



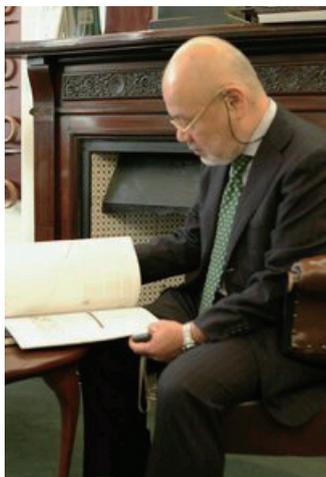
Main Seminar

メインセミナー

16:00 - 17:00 60分

“装い”が伝えるメッセージ

～ 英国紳士に学ぶ服装マナー ～



講師プロフィール

1952年東京生まれ。日本大学獣医学科在学中から服飾の勉強を本格的に始める。卒業後はアパレルメーカーの企画に所属し、ポールスミスの日本導入時にも携わる。福助において王室御用達製品を扱う企画に関わった後、ブリティッシュライフスタイル研究所を立ち上げ、イギリスの服飾、雑貨等広く生活文化の輸入紹介を行っている。学習院大学講師「服飾史とマナー」として服飾文化を中心としたマナー教育にも力を注ぐ。

ブリティッシュ・ライフスタイル研究所
講師:長谷部 義孝 (スタイリスト)

グローバルスタンダードとして通用するブリティッシュ・スタイル。これは人々の生活の中で形作られたものであり、スタイルの真意はその成り立ちを知ることから理解することができます。洋服についても同様で、正しい知識を持ち正しく装うことは、国際社会の中でも一人の立派な日本の知識人として認められ、コミュニケーションを広げていくことにつながっていくでしょう。

このブリティッシュ・スタイルの流れを受け継ぐ学校制服についても、その源を知り正しく理解することで、学校生活はもちろん社会に出ても通用する“装う力”を養うことができるのではないのでしょうか。一步踏み込んだ制服との付き合い方を考えてまいります。

Sub Seminar

サブセミナー

17:10 - 17:35 25分

制服の中に見る英国スタイル

講師: 服育研究会 有吉直美

正装である制服には、紳士服の伝統を持つ英国スタイルの影響が多く見られます。英国スタイルから見て制服はどのように着こなせば美しくなるのか、それぞれのアイテムを持つ背景や役割とともに考えていきます。

Talk Session

トークセッション

17:35 - 18:00 25分

制服指導に活かす英国の視点

長谷部 義孝 × 有吉 直美

★ 例えばこんな場面に役立ちます ★

家庭科で

被服分野について
教える時に

生徒との会話に

服についての
会話のネタとして

生徒指導に

制服指導の
新たな視点として

こころを育む衣服

服育

<http://www.fukuiku.net/>

F U K U I K U

東京服育研究会

- ムサシノ学生服(吉祥寺店) <http://www.musashino-uni.co.jp/index.html>
- ユニフォームスタジオ(自由が丘本店) <http://www.u-st.net/>
- 株式会社チクマ キャンパス事業部 <http://www.chikuma.co.jp/campus.html>

新宿NSビル

〒163-0813
東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

【駐車場】地下1階、地下2階 / 336台(有料)

- JR線、京王線、小田急線、東京メトロ丸の内線
新宿駅「南口・西口」より徒歩7分
- 都営地下鉄線(大江戸線)
都庁前駅A3出口より徒歩約3分

